

京都教区教務所員役宅整備積立金会計計算書

自 2023年7月 1日
至 2024年6月30日

歳入総額 13,651,622 円
歳出総額 1,173,210 円
差引残高 12,478,412 円(京都教区諸施設営繕資金会計へ繰入)

単位=円

収 入 の 部			支 出 の 部		
項 目	収 入 額	備 考	項 目	支 出 額	備 考
1. 助成金	0	地方事業補助	1. 事業費	1,173,210	役宅火災保険料、借上役宅負担料、役宅修繕費用(トイレ・窓)
2. 回付受金	2,500,000	一般会計より回付			
3. 雑収入	72,000	役宅費			
4. 繰越金	11,079,622				
合 計	13,651,622		合 計	1,173,210	

教務所員役宅（住居）の整備・確保を目的とする積立金会計。
2019年度において、「京都教区特別会計」を廃止し、会計の目的をより明確にするため、名称をあらため設置した。

【助成金：2022年度 地方事業補助廃止】

京都教区出版会計計算書

自 2023年7月 1日
至 2024年6月30日

歳入総額 1,171,269 円
歳出総額 1,171,269 円
差引残高 0 円(会計閉鎖)

単位=円

収 入 の 部			支 出 の 部		
項 目	収 入 額	備 考	項 目	支 出 額	備 考
1. 出版頒布交付金	0		1. 本山出版冥加金支出	270,386	教区頒布冥加金から教区収入分を除いた額
2. 本山出版冥加金	303,720	教区頒布冥加金	2. 回付金	900,883	一般会計へ回付
3. 雑収入	0		3. 出版頒布諸費	0	
4. 繰越金	867,549				
合 計	1,171,269		合 計	1,171,269	

本山出版物の売り上げを管理する会計。
教区運営の財源に充てるため、次年度への繰越額同額が次年度教区一般会計へ回付される。2023年度をもって当会計は閉鎖する。

【出版頒布交付金：2022年度廃止】

教務所員転退職慰労積立金会計計算書

自 2023年7月 1日
至 2024年6月30日

歳入総額 3,628,080 円
歳出総額 300,000 円
差引残高 3,328,080 円

(京都教区転退職慰労金給付資金会計へ繰入)

単位＝円

収 入 の 部			支 出 の 部		
項 目	収 入 額	備 考	項 目	支 出 額	備 考
1. 回付受金	200,000	一般会計より回付	1. 慰労金	300,000	嘱託退職金
2. 雑収入	0				
3. 繰越金	3,428,080				
合 計	3,628,080		合 計	300,000	

京都教務所員の退職又は転勤の際に、「教務所員転退職慰労金支給内規」に基づき慰労金を支給するための積立金会計。

京都教区伝道車購入積立金会計計算書

自 2023年7月 1日
至 2024年6月30日

歳入総額 3,480,196 円
歳出総額 0 円
差引残高 3,480,196 円(京都教区財政調整資金へ繰入)

単位=円

収 入 の 部			支 出 の 部		
項 目	収 入 額	備 考	項 目	支 出 額	備 考
1. 回付受金	0		1. 購入金	0	
2. 雑収入	0				
3. 繰越金	3,480,196				
合 計	3,480,196		合 計	0	

伝道車（公用車）を購入するための積立金会計。
2016年7月に現在の「プリウスα」を購入。

京都教区会館基本金会計計算書

自 2023年7月 1日
至 2024年6月30日

歳入総額 26,345,334 円
歳出総額 0 円
差引残高 26,345,334 円

(京都教区会館護持金積立金会計へ繰入)

単位=円

収 入 の 部			支 出 の 部		
項 目	収 入 額	備 考	項 目	支 出 額	備 考
1. 回付受金	4,217,521	一般会計より回付	1. 回付金	0	
2. 雑収入	203	預金利息	2. 営繕費	0	
3. 繰越金	22,127,610				
合 計	26,345,334		合 計	0	

「京都教区会館管理運営規則」に基づき、教区会館の将来的な大規模営繕に備えるための会計。

元々は教区会館建設時（平成元年）の残余金を基本金として保管していたが、2018年度に行った耐震補強を含む会館の改修工事により、保管していた約5,000万円のほとんどを改修工事の経費として使用した。

そのため、今後の営繕及び維持管理を視野に入れて、2018年度から『京都教区会館基本金積立費』として約5,000万円を目途に資金の積立を行っている。

京都教区災害支援対策特別会計計算書

自 2023年7月 1日
至 2024年6月30日

歳入総額 21,016,743 円
歳出総額 10,000,000 円
差引残高 11,016,743 円

(京都教区災害支援対策資金会計へ繰入)

単位＝円

収 入 の 部			支 出 の 部		
項 目	収 入 額	備 考	項 目	支 出 額	備 考
1. 回付受金	0		1. 支援金	10,000,000	能登半島地震(2024.1.1発生) 本山救援窓口へ送金
2. 義援金	14,623,726	能登半島地震救援金 (教区内勸募400件)			
3. 雑収入	63	預金利息			
4. 繰越金	6,392,954				
合 計	21,016,743		合 計	10,000,000	

広域災害が発生した際に、「京都教区災害支援対策特別会計規程」に基づき、教区として対応するための会計。

教区内の自然災害もしくは教区外（海外を除く）の広域災害に対して、同規程に基づき、必要な経費を支出することができる。

2000年10月の「鳥取県西部地震」における他教区等からの救援金の残額を基に、2001年度設置。

京都教区会館営繕積立金会計計算書

自 2023年7月 1日
至 2024年6月30日

歳入総額 1,878,668 円
歳出総額 0 円
差引残高 1,878,668 円

(京都教区諸施設営繕資金会計へ繰入)

単位=円

収 入 の 部			支 出 の 部		
項 目	収 入 額	備 考	項 目	支 出 額	備 考
1. 回付受金	0		1. 営繕費	0	
2. 雑収入	0				
3. 繰越金	1,878,668				
合 計	1,878,668		合 計	0	

「京都教区会館管理運営規則」に基づき、予測し得ない災害等により、緊急に教区会館に営繕の必要が生じた場合に備えるための会計。

京都教区新教区準備積立金計算書

自 2023年7月 1日
至 2024年6月30日

歳入総額 8,916,780 円
歳出総額 4,200,000 円
差引残高 4,716,780 円

(京都教区財政調整資金へ繰入)

単位＝円

収 入 の 部			支 出 の 部		
項 目	収 入 額	備 考	項 目	支 出 額	備 考
1. 繰入金	8,916,723	教区慶讃特会残余金	1. 回付金	4,100,000	一般会計(110万円) 会館会計(300万円)へ回付
2. 雑収入	57	預金利息	2. 予備費	100,000	慶讃法要お待ち受け大会助成1件
合 計	8,916,780		合 計	4,200,000	

「京都教区新教区準備積立金規程」に基づき、長浜教区との教区改編による新京都教区が発足するまでの間に、その準備として京都教務所において必要となる施設、設備等の改修、備品の購入等に係る資金の一部又は全部を準備するための会計。
教区宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃事業特別会計の残余金を原資とする。